

# 鳥取縣公報

## 縣令

昭和二十二年三月二十二日  
第七百九十四號

土曜日

本報ノ大キサハ國定標準ニ依リ

### 鳥取縣令第二十二號

昭和十八年四月鳥取縣令第二十九號鳥取縣立中學校學則中次のように改正し昭和二十二年四月一日より施行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

第九條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ學校長ニ差出スベシ。

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ  
第十六條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

### 鳥取縣令第二十三號

昭和十八年四月鳥取縣令第三十號鳥取縣立高等女學校學則中次のように改正し昭和二十二年四月一日より施行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

第十一條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ學校長ニ差出スベシ。

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ  
第十八條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

### 鳥取縣令第二十四號

大正三年四月鳥取縣令第十四號鳥取縣立倉吉農學校學則中次のように改正し、第十六條の規定は昭和二十二年三月十日より第二十八條の規定は昭和二十二年四月一日より施行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

鳥取縣公報 毎週 曜日發行 (休日は當り) 昭和二十二年三月二十二日 第七百九十四號 第三種郵便物認可

第十六條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學  
 考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ學  
 校長ニ差出スベシ

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ

第二十八條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第二十五號

大正十二年四月鳥取縣令第二十六號鳥取縣立日野農林學校  
 學則中次のように改正し、第十五條の規定は昭和二十二年  
 三月十日より第二十八條の規定は昭和二十二年四月一日よ  
 り施行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十五條 入學志願者ハ第二號書式ノ願書ニ第二號書式

ノ履歷書及入學考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校  
 長ヲ經由シテ本校ニ差出スベシ

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ

第二十五條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第二十二號

昭和十六年二月鳥取縣令第六號鳥取縣立智頭農林學校學則  
 中次のように改正し、第十五條の規定は昭和二十二年三月  
 十日より第二十五條の規定は昭和二十二年四月一日より施  
 行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十五條 入學志願者ハ第一號書式ノ願書ニ第二號書式

ノ履歷書及入學考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校  
 長ヲ經由シテ本校ニ差出スベシ

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ

第二十五條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第二十七號

大正十二年十一月鳥取縣令第四十號鳥取縣立米子工業學校  
 學則中次のように改正し昭和二十二年四月一日より施行す  
 る。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十二條 入學志願者ハ所定ノ願書ニ入學考査料金貳拾

圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ學校長ニ差出ス  
 ベシ

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ

第二十六條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第二十八號

昭和十四年十月鳥取縣令第三十號鳥取縣立鳥取工業學校學  
 則中次のように改正し、第十三條の規定は昭和二十二年三  
 月十日より第二十八條の規定は昭和二十二年四月一日より  
 施行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十三條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學

考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ本  
 校ニ差出スベシ

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ

第二十八條 授業料ハ一ヶ年間參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第二十九號

昭和三年三月鳥取縣令第十八號鳥取縣立米子農商學校學則  
 中次のように改正し、第十二條の規定は昭和二十二年三月  
 十日より第二十六條の規定は昭和二十二年四月一日より施  
 行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十二條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學

考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ本  
 校ニ差出スベシ

既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ

第二十六條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第三十號

大正十一年三月鳥取縣令第十四號鳥取縣立鳥取商業學校學  
 則中次のように改正し昭和二十二年四月一日より施行する。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十二條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學

考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ本

校ニ差出スベシ  
 既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ  
 第二十一條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

◇鳥取縣令第三十一號

昭和二十一年四月鳥取縣令第二十四號鳥取縣立水産學校學  
 則中次のように改正し、第十三條の規定は昭和二十二年三  
 月十日より第二十三條の規定は昭和二十二年四月一日より  
 施行する。

昭和二十二年三月二十二日  
 鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第十三條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學志願票ニ入學  
 考査料金貳拾圓ヲ添付シ出身國民學校長ヲ經由シテ本  
 校ニ差出スベシ  
 既納ノ考査料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ  
 第二十三條 授業料ハ一ヶ年參百六拾圓トス

告 示

◇鳥取縣告示第百十四號

林産物検査吏員證を次のように交付又は返納させた。  
 昭和二十二年三月二十二日  
 鳥取縣知事 吉 田 忠 一

新交付 検査吏員 證番號	返納檢 査吏員 證番號	官 職	氏 名	擔當區域	摘 要
二二七	一	林産物検査 事務囑託	西宮 光治	岩美郡一圓 鳥取市内	岩美地方 事務所勤務
二二八	一	同	古谷高四郎	那岐富澤區	八頭同
五四	一	同	井上 重孝	八頭郡一圓	同
二二九	一	地方技官	長田 哲夫	日野郡一圓	日野同
一三〇	一	縣書記	手島 一夫	同	同
一三一	一	林産物検査 員	山浦 重義	日野上村	同
一三二	一	林産物検査 事務囑託	小林彌喜雄	八頭郡一圓	八頭同

◇鳥取縣告示第百十五號

鳥取縣裝蹄師會にたいし削蹄及び裝蹄料金改正の件を次の  
 ように認可した。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

馬

- 裝蹄料(一頭に付) 尋常蹄鐵 金壹百四十圓
- 同 (同) 水上蹄鐵 金壹百八十圓
- 同 (同) 競走蹄鐵 金貳百圓
- 削蹄料(同) 明ケ二才以下 金貳拾圓
- 同 (同) 同 三才以上 金參拾圓

備考  
 一、癖馬及び特種の技術を要するものは別に相當の料  
 金を申受けることができる。  
 二、古蹄鐵兩用の場合は右料金から參拾圓を差引いた  
 額とする。

◇鳥取縣告示第百十六號

昭和二十二年三月十四日の縣參事會において議決された昭  
 和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加豫算、昭和二十一年度特  
 別會計印刷事業費歳入歳出追加豫算、昭和二十一年度就學  
 奨勵資金歳入歳出追加豫算の要領は次の通りである。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加豫算

歳 入

經 常 部

- 第一款 縣 稅 一、三六六、四七四圓
- 第一項 國稅附加稅 一、二〇〇、〇〇〇
- 第四項 地方分與稅 一六六、四七四
- 第五款 國庫支出金 六、七三三、六〇一
- 第一項 下渡金 三、八三八、一四二
- 第二項 補助金 二、八九四、四五九
- 第六款 雜收入 二六八、九〇〇
- 第三項 物品賣拂代 一〇〇、〇〇〇
- 第四項 雜 入 一六八、九〇〇
- 經營部計 八、三六七、九七五
- 臨時部
- 第一款 繰越金 一、二〇〇、〇〇〇
- 第二項 前年度繰越金 一、二〇〇、〇〇〇

第一款 國庫支出金	九、九〇五、五一九
第一項 補助金	九、九〇五、五一九
第四款 寄附金	四五、四八九
第一項 寄附金	四五、四八九
臨時部計	一一、一五二、〇〇八
歳入合計	一九、五二九、九八三
歳出	
經常部	
第三款 縣職員費	一三四、二三五
第一項 俸給給料諸給	六〇、四九六
第二項 廳費	七三、七三九
第四款 警察費	一三三、〇〇〇
第二項 廳費	一三三、〇〇〇
第六款 教育費	三九九、六〇八
第一項 國民學校職員費	五、〇六五
第二項 青年學校職員費	三七七
第六項 教育諸費	三九四、一六六
第七款 衛生費	七一、四〇八

第一項 豫防費	五八、四二〇
第三項 衛生諸費	一一、九八八
第八款 厚生費	二、六六八、四六五
第一項 保護救護費	一、八〇一、七六〇
第二項 厚生諸費	七九九、七〇五
第六項 職業輔導所費	六七、〇〇〇
第九款 勸業費	二七七、六二〇
第一項 農業費	一〇、〇〇〇
第五項 畜產業費	一〇一、四〇〇
第八項 勸業諸費	一六六、二二〇
第十款 地方振興費	一、八〇〇
第一項 地方振興費	一、八〇〇
第十二款 選舉費	二九五、三〇〇
第一項 選舉費	二九五、三〇〇
第十三款 諸費	一〇四、三九七
第二項 統計調査費	一九、八五〇
第三項 公金取扱費	一八、八〇〇
第四項 財産費	五、〇〇〇

第六項 雜支出	六〇、七四七
經常部計	四、〇八四、八三三
臨時部	
第一款 警察費	六〇、一〇〇
第一項 警察費	一六〇、二〇〇
第二款 土木費	八、三三三
第五項 土木費國庫負擔金	八、三三三
第四款 勸業費	三五八、八〇九
第一項 農業費	二七、〇〇〇
第三項 林業費	二〇四、五九〇
第四項 水產業費	三三、〇〇〇
第五項 畜產業費	三六、一〇〇
第八項 勸業諸費	六九、一一九
第五款 縣債費	一一七、〇〇〇
第一項 元金償還金	六四、〇〇〇
第二項 利子	一四八、〇〇〇
第三項 諸費	五、〇〇〇
第六款 開拓費	三八八、八八八

第一項 開拓事業費	三八八、八八八
第八款 諸費	一四、三〇〇、九二〇
第一項 諸費	三四一、〇〇〇
第二項 職員給與制度改善費	一三、九六〇、九二〇
臨時部計	一五、四三五、一五〇
歳入合計	一九、五一九、九八三

鳥取縣告示第百十七號  
東伯、日野地方事務所管内において縣稅檢査章並びに縣稅  
滯納者財産差押證票を次のように返納並びに交付した。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

區分	番號	交付年月日	所屬廳名	職名	氏名
縣稅	二二七	昭和二十二年三月五日交付	東伯郡 倉吉町	書記補	濱田 利春
檢査章	二二八		同	書記	山根信太郎
同	九七	返納同	同	同	多田 光好
同	三二一	同	同	同	伊藤壽美惠
同	一〇六	同三月一日交付	日野郡 神奈川村	同	船越久仁子

同	〇六同	返納同	同	梅林 實美
同	一四同	十三日交付	日野地方事務所	地方事務官 遠藤
同	一四同	同	同	計

◆鳥取縣告示第百十八號

馬匹去勢施行規則第十七條により昭和二十二年馬匹去勢を左記の通り施行するから、去勢すべき牡馬の所有者又は管理者は去勢開始時刻迄に該當牡馬匹を最寄の去勢所に牽付けること。

尙本年より勅令第五七號により牡馬の去勢を受ける者は去勢料六十圓を徴集することとなつたから、去勢料納付書(別記様式)に去勢料に相當する金額の収入印紙を添へ去勢の際去勢技術員に提出しなければならぬ。

昭和二十二年三月二十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

去勢施行期日	時刻	去勢場所	區域
四月十日	自午前八時 至午前十一時	八頭郡若櫻町家畜市場	
同十一日	同	同	船岡同
同十二日	同	鳥取市吉方鳥取農林專門學校	
同十三日	同	東伯郡倉吉町家畜市場	
同十四日	同	同	赤碕町同
同十五日	同	西伯郡所子村同	

同十六日	同	米子市勝田町同
同十七日	同	日野郡溝口町同
同十八日	同	同 大宮村役場
同十九日	同	同 石見村家畜市場

住所 所有者(又は管理者)氏名  
 去勢料納付書  
 金 六十圓 何號 何種 何才  
 印紙 毛特徴 去勢料

彙報

○旨趣事項

昭和二十一年勅令三百一十一號に關する件  
 (運合國古領軍の占領目的に有害な行爲に對する處罰等に關する勅令)  
 (昭和二十一年十月二十九日付本欄参照)

昭和二十二年二月十二日以降に於る本件に關係せる官報登載運合軍最高司令官發覺書は左記の通りである。

一、宣傳用出版物の沒收に關する件  
 (昭和二十二年二月二十六日付官報参照)

昭和二十二年三月二十二日 鳥取縣公報 第三種郵便物認可